

会告 大阪府診療放射線技師会 第 33 回学術大会の演題募集について

大阪府診療放射線技師会 第 33 回学術大会演題募集要項

【1】発表区分・形式と使用言語

発表区分は会員発表および学生発表で、発表形式は会場口述発表を基本とします。ただし、演題が採択された方で感染拡大防止策などにより現地で発表できなくなった場合に限り、Web 口述発表に切り替えられるよう準備を進めてまいります。安心してご応募ください。

抄録・スライド・発表は日本語で作成してください。本大会の演題登録では「研究」または「報告」いずれかの演題区分の選択が必要になります。なお、発表スライドデータは、大会運営を円滑に進めるため事前の提出が必要になります。発表スライドデータの提出期限は、10 月下旬を予定していますが、演題採択者へ改めてお知らせいたします。また、発表スライドデータは、Microsoft PowerPoint 2013 以降で作成をお願いします。発表について発表時間 7 分、討論 3 分とします。時間を厳守してください。

【2】応募資格

発表者（学生を除く）は、大阪府診療放射線技師会会員で 2022 年度会費完納者に限ります。ただし、2023 年度入会手続き中の方は、本年 10 月までに会費納入を含めた入会手続きが全て完了していることが必要です。

【3】募集期間：2023 年 7 月 1 日（土）正午から 2023 年 7 月 31 日（月）正午まで

【4】登録方法

大阪府診療放射線技師学術大会ホームページ (<https://www.daihougi.ne.jp/>) の「演題募集」ページよりご登録ください。演題登録には演題区分（【6】を参照）、発表者名、発表者所属機関名、発表者会員番号、共同研究者（報告者）名、共同研究者（報告者）所属機関名、共同研究者（報告者）会員番号が必要です。本発表では抄録（本文 800 字以内）が必要です。演題受領通知は、E-mail で登録時、修正時にその都度連絡します。受領メールが届かない場合は、大会事務局（science0202@daihougi.ne.jp）までお問い合わせください。

演題タイトルに会社名や商品名、商標名を使用することはできません。ご注意ください。一般的でない略語は避けるようにしてください。略語を用いる場合、正式名称もしくは日本

語名を併記してください。抄録に図表の挿入はできません。

※不適切な用語であると大会実行委員会が判断した場合は、予告なしに改変する場合がありますのでご了承ください。

【5】演題の採否

応募演題の採否について当会で決定します。決定後の変更は一切認めません。あらかじめご了承ください。演題採択通知書は8月上旬を目安にメールで申込者全員に通知します。応募演題の内容が優れた場合であっても、他の関連学会や研究会ならびに地域学術大会などで発表されたもの、または明らかに内容が酷似していると判断されたものについては、当会で不採択の決定をする場合があります。応募演題の発表内容に関しては発表者が最終責任を負うこととします。なお、演題区分「研究」においては、研究倫理に十分な配慮がなされていることが必要です（詳細は【7】研究の倫理面に関する注意事項について参照）。

【6】演題区分について

演題区分は下記の通りとします。演題登録時にはいずれかの演題区分の選択が必要です。アンケート調査なども含めて「人を対象とした研究」については倫理審査委員会の承認を受けることを必要とし、演題登録で倫理審査委員会の承認番号などを明記していただくことが必須となります。しかし、日常の業務改善や症例報告、人を対象としないファントム実験などについては「研究」のカテゴリーとはせず、「報告」として演題登録していただけるよ

演題区分一覧表

区分		内容	倫理審査の必要性
1. 研究	1 人を対象とした研究	研究デザインを行い実施しており、人を対象としているもの。	倫理審査委員会の承認が必要
	2 人を対象としない研究	研究デザインを行い実施しており、人を対象としないもの。	倫理審査委員会の承認は不要
2. 報告	1 症例報告	個々の患者についての詳細な報告であり、症状、兆候、診断、治療などの詳細についてまとめたもの。症例数については定義しない。	不要
	2 技術報告	ファントムを用いた実験や、線量測定、画質評価、撮影条件の横断調査など、データ取得過程も含め、人の個人情報、医用画像や診療情報を用いず、主に物理的な事実を検証し、その理解を広めることを目的としたもの。	不要
	3 実践報告	日常の業務改善、放射線の安全管理、医療安全、勤怠管理、院内教育などの詳細についてまとめたもの。	不要
	4 その他	教育、臨床実習、実習前客観的能力試験など、教育等についての詳細をまとめたもの。	不要

うに配慮致します。「報告」とは、研究目的ではない医療の一環と見なせるもので、症例報告は所属機関の長の承認を得たものとします。

【7】研究の倫理面に関する注意事項について

応募演題の研究の内容により、厚生労働省などによる倫理指針および所属施設が定めた倫理規程を順守することが必要です。

- 1) 人を対象とした研究では、あらかじめ所属施設などにおいて倫理審査委員会などによる審査・承認を得ていることが必要です。演題登録時には必ず倫理委員会名および承認番号の入力が必要です。
- 2) 人を対象としない研究では、あらかじめ所属施設などの倫理審査委員会において倫理審査が非該当であることを確認することが望ましい。

【8】注意点

提出いただいた抄録は、学術大会の演題コンテンツの一部として大会ホームページなどに掲載しますので了承をお願いします。演題登録は原則として専用サイトを利用したオンラインのみとします。オンライン登録はインターネットに接続でき、本人の電子メールが利用できる環境が必要です。演題登録の受け付けは、申込時に登録いただいたメールアドレスに電子メールで連絡します。確認メールが届かない場合は未登録扱いとなりますので、大会事務局まで電子メールで 問い合わせてください。そのまま放置された場合、大会事務局では一切の責任を負いません。

【9】演題区分：まとめ

演題区分

研究	人を対象とした研究	倫理審査委員会の承認が 必要
	人を対象としない研究	倫理審査委員会の承認は 不要
報告	症例報告	個々の患者についての詳細な報告であり、症状、経過、診断、治療などの詳細についてまとめたもの（ただし症例数については定義しない） 施設のルールに従って 所属機関の長の承認が必要
	技術報告	ファントムを用いた実験、線量測定、画質評価、撮影条件の横断調査など、データ取得過程も含め、人の個人情報、医用画像や診療情報を用いず、主に物理的な事実を検証し、その理解を広めることを目的としたもの
	実践報告	日常の業務改善、放射線の安全管理、医療安全、勤怠管理、院内教育などの詳細についてまとめたもの
	その他	教育、臨床実習、実習前客観的能力試験など、その他教育等についての詳細をまとめたもの

